

第13回  
京都都市緑化  
写真コンクール  
入選作品集 (平成9年度)



- 主催：京都府都市計画協会
- 共催：京都府・京都市・(財)京都府公園公社・  
(財)京都市都市緑化協会・(社)京都府造園建設業協会
- 後援：京都府市長会・京都府町村会・京都新聞社・KBS京都・  
 $\alpha$ -STATION FM KYOTO
- 協賛：京都府造園組合連合会・京都府写真材料商業組合  
(財)日本植木協会京都支部・(社)日本造園建設業協会京都府支部  
日本造園修景協会京都府支部・富士写真フィルム株式会社

緑とオープンスペースは、大気の浄化・気温の調節など良好な環境づくりに大切な役割を果たしているほか、潤いのある生活環境の確保、レクリエーションの場の提供など多くの役割を担っており、安全で快適な都市環境の形成に欠くことのできないものです。

このような緑の重要性と都市緑化の必要性に対する理解を深めるために、10月の「都市緑化月間」を中心に、全国各地で緑と公園に関するさまざまな行事が行われました。

京都では、この「都市緑化月間」の行事のひとつとして、「街の緑と公園」、「身近な小さな緑」、「窓辺の花や緑」などを主題とした「第13回京都都市緑化写真コンクール」を行い、290点の応募作品の中から入選作品として優秀な作品45点を選びました。

主催 京都府都市計画協会  
共催 京都府・京都市  
(財)京都府公園公社  
(財)京都市都市緑化協会  
(社)京都府造園建設業協会



入賞作品一覧

京都府知事賞  
京都市長賞  
(財)京都府公園公社理事長賞  
(財)京都市都市緑化協会理事長賞  
(社)京都府造園建設業協会会長賞  
優 秀 賞  
(順不同)

佳 作

『母娘 (おやこ)』	福 井 嘉 苗
『緑の木の下で』	白 木 根 嘉 治
『イチヨウ並木』	坂 根 道 真 理
『花いっぱいの家』	今 道 秀 夫
『京の店小さな緑』	伏 木 弘 臣
『緑樹と香につつまれた勸業館』	貞 廣 哲 也
『四条河原町の大きな木』	森 津 二 郎
『緑と水辺のファミリー』	木 村 竹 治
『親子』	高 橋 好 子
『指示をまつ』	南 部 敏 夫
『ちょっと一服』	白 井 敏 隆
『箱庭にも緑花いっぱい』	長 岡 幸 子
『どこへ消えたか御池の緑』	原 岡 寿 美
『緑下の憩い方』	長 岡 林 豊
『群 緑』	河 原 林 正 則
『新緑の下で』	藤 本 正 庸
『空と緑と』	酒 井 敏 充
『緑陰バス停』	三 上 敏 雄
『ビルの昼下り』	小 藏 武 三
『美しい街路樹の有る通り』	大 塚 修 司
『緑のシンフォニー』	畑 精 一
『花と緑の教会』	嘉 納 邦 夫
『新 緑』	井 上 敏 雄
『ハナミズキの咲く家』	渡 部 惠 美
『都市のオアシス』	中 川 敦 夫
『サマーガーデン (II)』	中 浜 崎 照 男
『グリーンロード』	中 島 清 子
『軒端に咲く』	深 見 昭 子
『緑のスロープ』	秋 田 茂 男
『緑の木の下で』	吉 永 弘 業
『緑の並木とバラ歩道』	安 藤 本 慶 一
『緑に心通いて』	藤 本 中 秀 樹
『寸暇の緑の下で』	田 中 野 光 一
『花見るウインドミル』	矢 野 村 遜 男
『調 和』	田 村 山 典 昭
『花と水と緑』	横 片 月 敏 雄
『散 歩』	片 月 卷 敏 勝
『緑 陰』	小 加 藤 鎮 雄
『水遊び』	加 藤 野 路 勇
『夏の日差し』	平 野 勝 郎
『安らぎの小径』	天 野 藤 勝 巳
『八朔の日』	齊 藤 橋 昭
『憩の道』	高 竹 中 音 次
『アレンジ・フラワー』	竹 中 音 次
『鴨川にて』	中 邑 勝



『母娘 (おやこ)』

福井嘉苗

綾部市神宮寺町在住  
撮影場所：京都植物園

京都府知事賞1点, 京都市長賞1点, (財)京都府公園公社理事長賞1点,  
(財)京都市都市緑化協会理事長賞1点, (社)京都府造園建設業協会会長賞1点, 優秀賞10点, 佳作30点 合計45点





『緑の木の下で』

白木 勇治

京都府加佐郡大江町在住  
撮影場所：京都植物園



『イチョウ並木』

坂根 真理

京都市上京区在住  
撮影場所：堀川紫明下ル





【花いっぱいの家】  
今道 秀夫  
京都市西京区在住  
撮影場所：西京区桂



【京の店小さな緑】  
伏木 弘臣  
京都市山科区在住  
撮影場所：神宮道





『緑樹と香につつまれた勸業館』貞廣哲也



『四条河原町の大きな木』森津二郎



『緑と水辺のファミリー』木村竹治郎



『親子』高橋好子



『指示をまつ』南部 斉



『ちょっと一服』白井敏夫



『箱庭にも緑花いっぱい』長岡隆男



『どこへ消えたか御池の緑』原 幸子



『緑下の憩い方』長岡寿美



『群 緑』河原林 豊





『新緑の下で』藤本正則



『空と緑と』酒井庸充



『緑陰バス停』三上敏雄



『ビルの屋下り』小藏武三



『美しい街路樹の有る通り』大塚修司



『緑のシンフォニー』畑 精一



『花と緑の教会』嘉納邦夫



『新 緑』井上敏雄



『ハナミズキの咲く家』渡部恵美子



『都市のオアシス』中川敦夫



『サマーガーデン (II)』浜崎照男



『グリーンロード』中島 清





『軒端に咲く』深見昭子



『緑のスロープ』秋田茂男



『緑の木の下で』吉永 弘



『緑の並木とバラ歩道』安藤 業



『緑に心通いて』藤本慶一



『寸暇の緑の下で』田中秀樹



『花見るウインドミル』矢野光一



『調 和』田村遜男



『花と水と緑』横山典昭



『散 歩』片月敏雄



『緑 陰』小卷 勝



『水遊び』加藤鎮雄



佳 作



『夏の日差し』平野 勇



『安らぎの小径』天野路郎



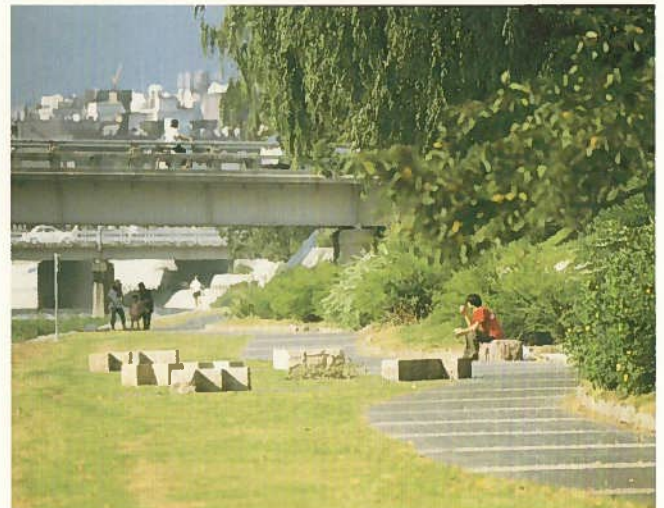
『八朔の日』斉藤勝巳



『憩の道』高橋 昭



『アレンジ・フラワー』竹中音次郎



『鴨川にて』中邑 勝



## 第13回京都都市緑化写真コンクール講評

古都保存文化写真協会会長

写真作家 小林文司

街の緑を守り育てて行こうと始まったこの写真コンクールも第13回目を迎えたが、多くの方々の共感を得て都市緑化の行事としてしっかりと定着したようです。

いま、京都では新京都駅ビルや地下鉄東西線の完成で、京都の街並やその緑も一段と変化を見せています。一方、緑の多い家並がコンクリートの建物や駐車場に変わり、緑が失われ続けています。緑豊かな街を守り育てて行くためには、そこに暮らす人々の努力や、緑化活動に対する協力が益々必要だと思えます。

京都府知事賞は斜をかけることによって「綾（あや）」を出すとともに、新緑のトーンに濃淡が出て、立体感があり、母と子の配置が非常によい作品です。濃度をもう少し濃くし、白抜きにすれば、なおよかったと思えます。

京都市長賞はオーソドックスな作品ですが、植物園で団らんする幼児の帽子の濃い赤色がきいて画面をひき締めています。

京都府公園公社理事長賞は、新芽の吹きかけという新鮮な味を狙い、赤い車の色でアクセントをつけ、要領よくまとめた作品です。色が少し薄いのとプリントの時に左端の木の部分をもう少し切れればよかったと思えます。

京都市都市緑化協会理事長賞は、手入れがよくされている美しい庭の景色を通りかかった際に撮られたと思われそうですが、題名を良く表している作品だと思えます。

京都府造園建設業協会会長賞は、都会の寸景を撮った作品ですが、木の緑とお店の中のタングステンのオレンジ色が非常に調和しています。

総評としては、今回の応募作品数は290点と、昨年よりは14点減少しましたが、このコンテストも回を重ねているので今までの入選作品に似た作品が出てきている問題があるものの、確実に応募者のレベルが上がり全体にいい作品が多くなってきているように思えます。

今年は近畿都市緑化祭が京都で開催され、また、12月には地球温暖化防止京都会議も開かれます。この京都の街の緑の美しさ大切さを再認識し、コンテストに参加された方を始め、多くの皆さんと一緒に街の緑を守って行きたいと思えます。



